

## 「香取市中心市街地活性化基本計画（案）」に対する パブリックコメントの実施結果について

「香取市中心市街地活性化基本計画（案）」について実施したパブリックコメントの結果について、次のとおり報告いたします。

貴重なご意見をお寄せいただき有難うございました。

### 1. 意見募集の結果概要

意見の募集期間	平成23年12月1日～平成24年1月4日
意見の提出件数	提出者数： 5名 意見件数： 12件
意見への対応等	意見を参考に案を修正したもの： 1件

### 2. 意見の内容及び意見に対する市の考え方

No.	意見の内容（要旨）	意見に対する考え方	修正有無
1	中心市街地に香取市への移住・定住を検討するための「滞在型生活体験」施設を設置し、香取の暮らしに浸ってみる。	本市に住まいを求める方が増加するような施策を展開することは重要なことと考えております。 本計画（案）では、「町屋ステイプロジェクト」、「空き家住宅活用プロジェクト」を位置づけ、空き家となった町屋を活用し、地域の伝統的な暮らしを体験できる宿泊施設の検討や空き家の活用を促進するための施策を展開することとしております。	無
2	中心市街地の1区画に「有名料理人」に出店していただけるように促進に努める。	「魅力的な店舗を増やす」というご趣旨の提案と思料いたします。 これにつながる事業として、本計画（案）では7つの事業を掲載しており、「商業・生活サービス機能の充実」に向けて実施していきたいと考えております。	無

3	<p>市街地にある飲食店を会場に複数のお店を回り、様々な料理を食べながら大勢の人達との出会いの場所を提供（有料）し、「街コン」を開催して地域活性化を促進する。</p>	<p>地域の飲食店を活用した地域活性化の提案ですが、本計画（案）では、「活性化イベントの実施」、「連携イベントプロジェクト」を位置づけており、多くの来訪者が期待できるイベントの実施や各種団体との連携による中心市街地全体でのイベント開催を推進することとしております。内容について今後検討していきたいと考えます。</p>	無
4	<p>佐原を中心市街地として設定することが適切なのか、市街地に何を求めるのか、ということの検証が不十分なのではないか。</p> <p>交通の主体が車になる中、商業に関しては成田イオン、パルナ稲敷、銚子イオンあたりが香取市住民にとっての中心商業地という位置づけであり、主要な買物先ではないか。日用品は大型スーパーで、そして郊外型大型店こそ多くの人の衣食の消費先であり、インターネットでの商取引も増える中、市街地が商業地、という概念自体成り立たないのではないか。</p>	<p>昨年実施したアンケートの結果をみますと、「日用品等の買い物ができる施設」や「飲食施設」は、佐原駅周辺等にあれば「賑わいにつながる」、「活用したい」と肯定的に答えた方（「思う」、「やや思う」の合計）が3分の2以上になっております。</p> <p>こうしたことから、佐原駅周辺をはじめとして商業機能の衰退が続く香取市を活性化し、中心都市としての機能を回復し、市民をはじめ近隣市町居住者にとっての買い物や生活サービスの場としての中心都市としての機能を再構築することを基本方針としております。</p>	無
5	<p>観光に関して、必ずしも中心市街地が観光スポットである必要がないのではないか。</p> <p>小野川沿いのごく限定された地域に集客力はある、ということだがそれだけだ。観光バスがそこに入り、半日観光、または東京からの1日観光立ち寄りスポットの一つでしかない。観光地としての整備であれば、この地域だけに資金等を集中するにしても、古い町並みと祭では成田との差別化が必要ではないか。それ以外の部分、例えば駅前商店街の整備などについては、行政が手を引くか、むしろ撤退支援をするべき地域ではないか、と考える。</p>	<p>伝統的建造物群は、中心市街地の歴史・文化を現在に伝える極めて重要な資産であるとともに、観光資源でもあることから、「中心市街地ならではの観光振興」に資する事業として、「町並み整備事業」を位置づけているところです。</p> <p>古い町並みと祭については、千葉県が策定している「地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想」の中でも、「佐原歴史的町並み」、「佐原の山車行事」の名称で地域産業資源として指定されており、特色のある資源と考えられます。</p>	無

6	<p>外部から人を呼び込むことに注力するのは必要かもしれないが、それよりもそこでの生活者が快適かつ便利に生活できることを第一として、その生活者が休日に近場の観光地として行きたい場所であることが重要ではないか。この視点はアンケートでも考慮されているが、国道 356 号での渋滞状況や、佐原駅前の駐車場の確保、そこからのアクセスの現状は必ずしも生活者にとって快適とは言えないのではないか。</p> <p>これに関して、佐原駅をパーク&amp;ライドとして整備する、もしくは香取駅を車、高速バス、電車、バスの交通ターミナルとして整備することができないか。香取駅は 30 分に 1 本佐原に行く電車があるので、佐原への観光アクセスポイントとすることも可能ではないか。</p>	<p>今回の中心市街地活性化のテーマの一つに「人々が集い、暮らし、交流する、にぎわいのあるまちづくり」があります。</p> <p>これは、「住む人も訪れる人も魅力を感じ、住民自らが誇りを持てるまちづくり進め、市全体の活性化を図ること」を目的として定めたものです。</p> <p>パーク&amp;ライドという観点からすると、水の郷さわらの整備に伴い、その駐車場に車を停車して、町中へは舟または自転車で、休日には循環バスで回遊することが可能となっております。</p>	無
7	<p>小見川花火大会のように認知度は低いに関心の高いイベントに関連イベントをくっつけ、広報活動で盛り上げていくことで、滞在時間の長時間化に結びつけていく事も可能とを感じる。むしろ佐原駅周辺への投資より効果が高いのではないか。</p>	<p>滞在時間の長時間化に結びつけていくことは重要と考えております。</p> <p>本計画（案）でも、「活性化イベントの実施」、「連携イベントプロジェクト」を位置づけており、滞在時間の長時間化、賑わいの創出につなげていきたいと考えております。</p> <p>また、「戦略プロモーション事業」、「観光情報発信事業」、「観光案内機能強化プロジェクト」を位置づけて、滞在時間の長時間化に結びつくような観光情報の提供を行っていききたいと考えております。</p>	無
8	<p>「暮らしやすく活みなぎるやすらぎの郷」の実現を図るためには、“誰もが行きたい街”づくりと、“誰もが住みたい街”づくりが高い優先性をもって同時並行的に推進される必要があります。そこで緊急不可欠な施策は、災害復興事業を考慮し、コラボし</p>	<p>これまでの取組により、小野川周辺地区、本宿耕地地区は、一定の効果がありました。</p> <p>この 2 地区と比較して、JR 佐原駅周辺地区への波及効果は小さいものと考えております。</p> <p>本計画（案）で位置づけている各種事業を一体的に行うことで、</p>	無

	<p>えるシンボル・ストリートである駅前ストリートの早期整備に着手することです。</p> <p>四季を通じて歴史と町並み検証・学習し、豊かな商業活動の成果をエンジョイできる市街地づくりの筆頭は、この駅前ストリートです。</p> <p>おごりはもたず、誇りをもって市民とゲストの人々に由緒あふれる駅前ストリートを紹介したいと強く願っています。</p>	<p>賑わいの再興につながるよう努めていきたいと考えております。</p>	
9	<p>小野川近辺はすでにしっかりした町並みができあがっています。そこで提案したいのは、JR佐原駅から小野川に至る道筋を良くすることが必須だと思います。</p>	<p>「JR佐原駅から小野川に至る道筋を良くすること」については、ハード、ソフト両面の要素があると思いますが、歩行者が楽しく快適にまちを回遊できるための「歩行者空間整備事業」ほか、立寄りたくなる魅力的な店舗を増やすための取組を実施・支援していきたいと考えております。</p>	無
10	<p>小野川から水の郷さわら、さらに小見川、神崎、与田浦を繋げる水の道を舟で繋げ、それぞれの地点に土地の特色ある物産を売る店を整備して観光客を引き寄せる方法を考えられては。</p> <p>小見川も神崎も水の道で佐原と繋がれば、もっと利根川の水運の復活に力をいれるのではないのでしょうか。</p>	<p>利根川の水運については、現在、利根川沿川18市町村で構成する利根川舟運・地域づくり協議会において、「舟運で栄えた長い歴史のある利根川を連携軸として、沿川自治体が相互に連携、協力しあい水面・空間の利用促進及び沿川の交流・連携による地域活性化を図るための事業を展開」しております。</p> <p>本計画（案）でも、「広域連携事業」を位置づけ、広域連携によるプロモーションを実施し、観光客の誘致を図ることとしております。</p>	無
11	<p>都会からの人を呼び寄せるには、まずグリーンツーリズムを活用するのが良いと思います。そのために、旅行会社と組んで、農家に泊まってもらい、農作業を手伝う傍ら、田舎の生活をエンジョイしてもらおうのはどうでしょう。</p>	<p>中心市街地及び市内の観光周遊や滞在を促進するため、来訪者のニーズに応じた観光情報を提供していくため、本計画（案）では「観光情報発信事業」を位置づけております。</p> <p>グリーンツーリズムについては、都市との交流活動の促進につながるものであることから、引き</p>	無

		続き検討・実施していきたいと考えております。	
12	<p>今回の中心市街地活性化基本計画の対象区域内には、東日本大震災の被害を受けた箇所があり、今なお復旧に向けた工事等をしている箇所があります。</p> <p>今後の中心市街地活性化基本計画の推進に当たっては、復旧・復興に関連のある取り組みもあると思われることから、東日本大震災と中心市街地活性化基本計画の関係について、記載すべきと考えます。</p>	新たに章立てをし、「東日本大震災に関わる本計画の対応」として、追加します。	有

### 3. 問い合わせ先

香取市役所 経済部 賑わいのまち推進課  
 TEL 0478-50-1234 / FAX 0478-54-2855